

「今月の1枚」



(写真 1)



(写真 2)

ヤマボウシ（ミズキ科） *Benthamia japonica*

霧に煙る高原にヤマボウシの花が咲いていました（写真1）。枝先に花柄を出し、その先に1群の花がついています。

白色の4つの花弁のように見えるものは、実は総苞で、少し見にくいですが、その中心に花弁4個、雄しべ4個、雌しべ1個をもつ多数の小花が球状に集まってついています（写真2）。和名は山法師で、真ん中の丸いつぼみの集まりを坊主頭に、白い総苞を頭巾に見立てたものとされています。

ヤマボウシは山の中で普通に見られるミズキ科ミズキ属の落葉樹で、樹高5～10m、胸高直径20～30cmになります。本種は本州、四国、九州だけでなく、朝鮮半島、中国大陆、台湾にも分布しています。

(写真, 文 : 加茂皓一、2007年6月23日 高知県津野町天狗高原で撮影)

(NO.156 2007.07.9 掲載)